

窓をあけて、私の詩をきいて

名木田恵子 著 紺野キタ／装画

2018年11月下旬配本予定

※11月2日(金)までにご注文承りますと、発売日に間に合います。
それ以降は“注文扱い”になりますので、予めご了承ください。

大切な想いをそっと、抱きしめる——

名作「赤い実はじけた」の著者が
永遠・普遍のテーマでおくる、
いま、いちばん読みたい恋物語。
詩人・文月悠光さん推薦！

【あらすじ】

主人公・水鳥(みどり)には咲野(さくや)と暁生(あきお)という大切な二人の幼なじみがいる。三人の仲間の中で、水鳥は秘密を抱えている。ひとつは、詩を書いていること。もうひとつは、咲野に特別な感情を抱いているということ——。相手を想えばこそ言葉にできない恋の切なさや普遍性をリアルに描きだす、待望の新作長編。

- 体裁：四六判・上製・192頁
- 予価：1500円+税
- 対象：小学校高学年～中学生以上・一般
- ISBN：978-4-907108-30-4 C8093



これは「わたしたち」の物語。

詩人・文月悠光さんが
本書に寄せるエッセイ
「わたしたちの夜明け」
を書きおろし！

著者／名木田恵子(なぎた・けいこ)

東京都生まれ。児童文学作品を中心に幅広く活躍。作品に『赤い実はじけた』(PHP 研究所)「ふーことユーレイ」シリーズ『風夢緋伝』(共にポプラ社)『レネット 金色の林檎』(金の星社)『小説キャンディ・キャンディ FINAL STORY』(祥伝社)『ラ・プッツン・エル6階の引きこもり姫』(講談社)など。

お問い合わせは 出版ワークス FAX.078-200-4134 TEL.078-200-4106

書店様 印	月	日	ご希望 冊	11月下旬配本予定 ISBN 978-4-907108-30-4 C8093		委託
				うた 窓をあけて、私の詩をきいて		
				発行：出版ワークス	予価 本体1500円(税別)	
注文先：出版ワークス				FAX.078-200-4134 TEL.078-200-4106		